

# 【 2016年度 事業報告 】

## ▶総会

---

### 第5回2015年通常総会

【日 時】 2016年5月22日(日)

15:00から17:00まで

【場 所】 大阪市西区北堀江2-2-24 プラディーパ北堀江605号室

【出席者数】 全正会員数 41名 うち 出席者数 25名 (うち委任状出席 12名)

#### 【議案】

第1号議案 2015年度事業報告及び収支決算報告の件

第2号議案 2016年度事業計画案及び収支予算案承認の件

第3号議案 役員選任の件

## ▶理事会

---

### 開催状況

#### 2016年度第1回理事会

【日 時】 2016年5月22日(日)

【場 所】 大阪市西区北堀江2-2-24 プラディーパ北堀江

【出席者数】 理事 7名 監事1名

#### 2016年度第2回理事会

【日 時】 2016年7月7日(木)

【場 所】 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階 140B事務所

【出席者数】 理事 5名

#### 2016年度第3回理事会

【日 時】 2016年11月3日(木)

【場 所】 大阪市中央区船場中央1-3-2-302 大阪市コミュニティ協会 NPO連携室

【出席者数】 理事 5名

#### 2016年度第4回理事会

【日 時】 2016年11月11日(金)

【場 所】 大阪市中央区船場中央1-3-2-302 大阪市コミュニティ協会 会議室

【出席者数】 理事 6名 オブザーバー 1名 (ディベンドラ氏)

#### 2016年度第5回理事会

【日 時】 2017年1月12日(木)

【場 所】 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階 140B事務所

【出席者数】 理事 5名 オブザーバー2名

2016年度第6回理事会

【日 時】 2017年3月1日(水)

【場 所】 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階 140B事務所

【出席者数】 理事 5名

## ▶事務局会議

---

スタッフミーティング開催状況

2016年 7/26 於 総合生涯学習センター 8/9 於 総合生涯学習センター

9/14 於 総合生涯学習センター 10/20 於 垣花理事長宅

12/8 於 総合生涯学習センター

2017年 1/24 於 総合生涯学習センター

2/8 於 総合生涯学習センター 3/16 於 総合生涯学習センター

## ▶広報

---

### ■事業の概要

昨年3月末に読売テレビ報道番組「ten」に取り上げられニランジャンスクール、女性自立センターの様子や関西大学初等部との交流の様子などが放映され認知度が上がったが引き続き既存の支援者、潜在的支援者へアプローチするため、ウェブサイト、SNSの運用、チラシ等を作成し、現地の様子を伝えること、ニランジャンセワサングの認知度を高めること、イメージアップを図ることを目的として活動した。

又今期は大阪市の助成を受け大阪市難波市民学習センターにて3回シリーズのセミナーを開催、広く市民の方に当法人のPRを実施した。又梅田市民セミナーにおいても関西大学初等部とニランジャンスクールの交流をテーマにした講演会が開催されインドの現況と合わせ当法人の活動について講演した。

### ■2016年度の実績と成果

<実績と成果>

(1) 対象者：潜在支援者

#### ①ウェブサイト

団体の活動内容などがより伝わりやすいものになるよう、2015年度作成のホームページにプラスしてフェイスブック活用での情報発信に努めた。

Facebookページ いいね！ 累計2500件

<課題>

- ・ウェブサイトの適時更新
- ・ブログとソーシャルメディアの活用方法
- ・団体イメージの統一（団体紹介パンフレット、封筒、名刺等）

## ▶支援者サービス

---

### ■事業の概要

今年度、支援者及び協力者へ、ニュースレターと合わせ子ども達の手作りカードを送った。現地の状況を知ってもらうことは勿論、子ども達との交流を楽しんでもらった。

### ■2016年度の実績と成果

<実績と成果>

#### (1) サポーターへのニュースレター「Niranjana Letter」発行

2016年12月に支援者へ現地の子ども達の様子や各プロジェクトの進捗状況、イベントのお知らせなどを兼ねたニュースレターを会員及び協力者に向けて発送した。

#### (2) 現地からのクリスマスカード発送

2016年児童が支援者に対しクリスマスカードを約250枚作成し、支援者のもとに郵送した。

## ▶スタディツアー事業

---

### ■事業の概要

インド・ビハール州ニランジャンスクールでの授業ボランティアや、近隣の村への訪問などを通し現地の住民たちと触れ合うことで、参加者の見聞を広めるとともに、現地での様々な体験を通じて、児童やスタッフと国境を越えた関係性を築くことを目的としたプログラムである。

### ■2016年度の実績と成果

#### (1) 夏のスタディープログラム

<実績と成果>

2016年8月25日～9月9日実施

参加者： 3名 従事者：引率者1名、コーディネーター1名

ニランジャンスクール、アシュラム、ニーナ分校、ゴンガリア分校での現地研修、又個々のプロジェクトについてはミーティングを重ね実施した。

<課題>

当初参加者は4名と最低催行の6名に達しなかったが開催を決定したが出発直前に1名キャンセルになり3名での実施となった。

#### (2) 春のスタディープログラム

<実績と成果>

2017年3月9日～3月22日実施

申込者が1名という状態であったので中止とした。

## ▶ イベント事業

---

### ■ 事業の概要

様々なイベントへの参加及びブース出店を通し、普段は活動に参加していない多くの人に参加していただく。

団体のPRにも繋がることから、今後、さらに力を入れて広く活動を知ってもらう必要がある。

### ■ 2016年度の実績と成果

#### <実績と成果>

2016年度は、下記イベントに参加、あるいはイベントを主催した。NPO法人の活動について知ってもらういい機会になった。

2016年5月3日 地球愛祭り出展

2016年11月23日 大阪市総合生涯学習センターの総合フェスタに出展

2016年12月23日 「One World Festival for youth」出展参加

立ち合いには学生国際協力団体「BEAM」が協力。高校生向けのPR活動を実施した。

## ▶ 研修・セミナーの開催と参加

---

### ① 大阪市総合生涯学習センターネットワークサロン

日時 2016年7月6日（水）

内容 インドビハール州の状況や教育事情のセミナー

参加者 15名

### ② インドの事を知って国際交流を！！ 3回シリーズセミナー開催

(大阪市の助成事業として実施)

第1回 10月30日（日）

内容 南インド古典舞踊とインド文化を学ぶ

第2回 11月6日（日）

内容 国際協力とは---小学生が行った国際協力活動

第3回 11月13日（日）

内容 インドヨーガとインド精神文化を学ぶ

それぞれの回で二ランジャナセワサンガの活動紹介を行った

### ③ うめだ市民セミナー

インドの小学校事情

日時 2017年3月24日（金）

関西大学初等部の活動紹介と合わせて二ランジャナセワサンガの活動を紹介する

### ④ 関西N G O協議会主催

かんさいCSネットワークフォーラムへの参加

【日 時】 2017年2月12日(金)

【場 所】 大阪市北区梅田 大阪市立大学文化交流センターホール

【出席者数】 スタッフ1名

## ▶現地NGO代表ディベンドラ氏招聘

---

現地NGOニランジャナパブリックウェルフェアートラストの代表辞任に伴う新任代表のディベンドラ氏を日本に招聘し支援者並びに支援団体との交流をはかった。

期間 2016年11月1日～11月12日

交流先 関西大学初等部、大阪市助成セミナー、西脇高校、播磨農業高校、NNJ、  
チームピースチャレンジャー（関東）、ピースロード鎌倉、ビーム、NSS理事会  
賛助会員のディベンドラ氏を囲む会、その他サポーターの皆さま

## インド①▶学校教育

---

### ■事業の概要

「他者への思いやりの心を育てること」を教育の理念とし、現地パートナー団体トラストと連携を取り合いながら、貧困地域において学校教育を提供している。学力向上及び自立支援授業、教科書配布、制服支給、給食配給（週2日）をすべて無料で実施。

2003年よりブッダガヤ周辺の17の村々の最貧困層の子どもたちを対象に、学校教育を支援しており、これまでに11年間、年間約700名の子どもたちに、無償支援。授業料が払えない、制服や教科書を買うことができない子どもたちのために支援を行う。

地域の教育レベルの底上げに力を入れていくと同時に、経済的貧困が理由で進学・就職ができないという子どもたちを支援するために、義務教育の期間を終えるまで、学校教育を提供している。

教育面で特に力を入れているのが、英語、一般教養、そして国際交流である。世界情勢を幅広くとらえ、国境を越えた視野を持つことができるよう、世界各国からのボランティアを受け入れ、授業やワークショップに積極的に参加することで実践的なコミュニケーション能力を培う。学校には、ヒンドゥー教、イスラム教、仏教、シーク教などさまざまな宗教背景を持つ子どもたちが一同に学んでおり、すべてのカーストの子どもたちが分け隔てなく一緒に机を並べる。

### ■2016年度の成果：

- ・「私たちの学校」という意識啓発のため、学校や教室の掃除運動を実施。
- ・運営自立を目標にし、来期より学費を支払える家庭からは低額の学費を納めてもらう為、保護会を開催。保護者たちへ学校運営への協力を呼び掛けた。
- ・7年生を対象に卒業遠足を実施。32名が参加。思い出作りを行った。
- ・朝の挨拶運動の実施。

- ・ニーマ村分校にて、医師による健康チェックキャンプ実施。健康診断と衛生教育を行った。
- ・NPO団体チームピースチャレンジャーの支援により給食の提供を実施。

教科：英語、数学、ヒンディー語、サンスクリット語、科学、一般環境学、社会、

クラス：ナーサリー・プレナーサリー・LKG・クラス1-7

シニアクラス（クラス8-10 中学校2~3年生・高校1年生）（本校のみ）

コンピュータークラス（本校生徒並びに地域の15歳以上の若者が対象）

現在、生徒数は約700名。

## インド②▶孤児院（ドミトリー）

---

### ■事業の概要

2006年より始まったこのプロジェクトは、親が不在、養育が困難などの理由により、家庭での養育が不可能である男児を保護し、孤児院（ドミトリー）で生活支援を行っている。勉強、日常生活、リクリエーションのバランスのとれた日常を提供し社会に必要な知識と経験を身に付けることにより、孤児院卒業後、すみやかに自立できるよう支援を行っている。

### ■2016年度の成果：

- ・2015年3月より孤児院卒業生を対象にした奨学金制度を導入し、10名の卒業生を支援することにより大学の学費や生活費の一部を賄うことができた。

（※チームピースチャレンジャー 協力）

## インド③▶スジャータ・アシュラム（女性センター）

---

### ■事業の概要

女性の地位の向上に向け、女性が技術を身につけ経済的な収入を得ることだけでなく、日頃、自分や家族が着る洋服を作れるようになることで、家庭の中でも自信や誇りを持ち、強く生きていけるようにと始まったプロジェクト。2011年にスジャータ・アシュラムが完成。活動期間は4年半。

裁縫教室、メヘンディ教室、ペイント教室、識字教室を実施。チームピース協力の元、裁縫の基礎技術の指導を行った。

### ■2016年度の成果：

- ・裁縫教室を修了した女性たち約40名が、より高い技術を身に付けるため年に数回（約10日間前後）のプロの講師によるトレーニングを実施。

（チームピースチャレンジャー）

- ・技術のある女性たちに、商品生産の発注を行うことによって仕事・収入と技術習得の機会を提供している。

（チームピースチャレンジャー）

## インド④▶診療所

---

#### ■事業の概要

スジャータ村周辺の村びとたちの健康促進のため、週2回、医師がボランティアで、ホメオパシー療法にて病気の治療を行い、病気や栄養失調の予防のための知識を提供している。

#### ■2016年度の実績と成果

##### <活動実績>

医師1名、看護師2名、処方箋スタッフ1名、受付1名の計5名が、週2日（2015年度より2回に変更）、火・金曜日に診療所内で定期的な無料相談・診療を行う。診療所周辺の村に住む乳児から高齢者まで、幅広い年齢の住民が利用。累計約10,000名以上の患者が来院した。

## インド⑤▶植林・有機農業

---

#### ■事業の概要

乾燥・干ばつ被害が広がるビハール州南部に林や森を取り戻し、生物多様性を回復させるとともに地球温暖化を防止する。また、植林と有機農業の混合実績によりアグロフォレストリー(森をつくる農業)のモデルケースとなることを目的としたプロジェクト。開始から5年がたち、マンゴーが実るようになり、その他の木々も順調に育ってきている。植林地を動物侵入による被害から守るため、柵の建設を開始している。有機農業の畑にて、土作りと再耕作を計画した。

#### ■2016年度の実績と成果

- ・マンゴーとグアバの収穫に成功。
- ・植林・有機農業の混合実践を行うことにより、有機物の有効利用に工夫をこらした。ミミズを投入したコンポスト堆肥づくりに関しては、ミミズが定着せず上手くいかないこともあった。堆肥作りは今後の課題となっている。
- ・泥棒や家畜の侵入を防ぐため、レンガ塀の追加建設を行った。
- ・有機野菜の収穫にも成功。学校給食や孤児院の食事提供にも利用した。

(※ピースロード鎌倉の支援・東洋ゴム(株)の助成金により実施)

## インド⑥▶ブランケット配布事業

---

#### ■事業の概要

二ランジャナ周辺地域は夏は50度近くなる一方冬は寒さも厳しく暖房設備も無い土の家に暮らす貧しい人々に対して容赦なく寒さが襲う。特に高齢者や身体的ハンディーを背負った人々はこの時期は本当に厳しいものがあり特にこのような厳しい状況にある方たちにブランケットの配布を行なった。この基金は国際ソロプチミスト高槻の寄付で実施した。

